



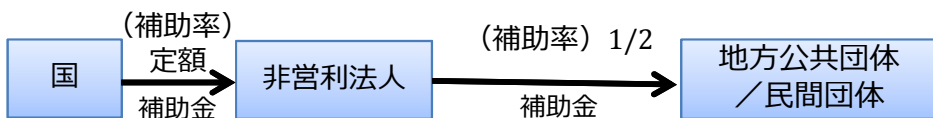
背景・目的

- 家庭用の小型浄化槽の低炭素化は、近年の高効率ブロワの普及等により急速に進んでいる一方、集合住宅等に設置されている大型浄化槽は、処理工程上で機械設備（ブロワ、水中ポンプ、スクリーン等）が必要となるが、これらの低炭素化への対応は遅れている。
- 既設の大型浄化槽の機械設備を省エネ改修することにより、温室効果ガスの排出削減に大きく寄与するとともに、老朽化した浄化槽の長寿命化を図る。

事業概要

- 101人槽以上の既設合併処理浄化槽について、省CO2型の高度化設備（高効率ブロワ、インバータ制御装置、再生可能エネルギー電源装置等）の導入・改修費について、1/2を補助する。
- 実施期間：平成29年度～平成33年度
- 補助対象：地方公共団体、民間団体

事業スキーム



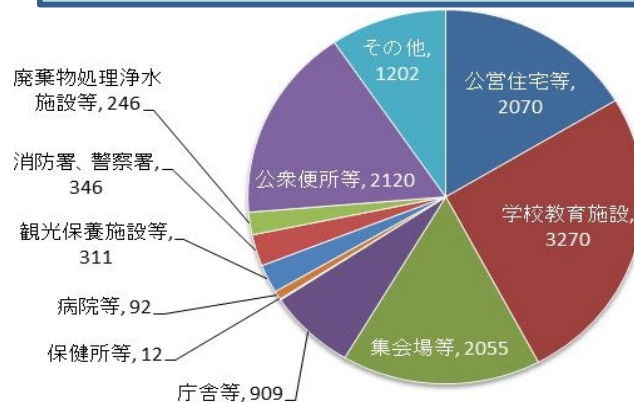
期待される効果

- エネルギー起源二酸化炭素排出抑制
- 地域の低炭素・自立分散型生活排水処理システムの構築の促進

事業概要

101人槽以上の浄化槽設置状況（H26末）
約82,600基

<参考>うち、公共所有（約12,600基）の内訳



イメージ

大型浄化槽には、好気性微生物へ酸素供給するための送風設備（ブロワ）、混入物を除去するスクリーン、水中ポンプなど、処理工程上様々な電気・機械設備が必要 ↓
エネルギー起源 CO2排出源

大型浄化槽（101人槽～）の省エネルギーシステム導入支援

大型浄化槽の機械設備の例



<スクリーン>



<インバータ制御装置>



- 高効率ブロワ等
- インバータ装置、タイマー等の省エネ運転設備
- 再生可能エネルギー電源装置導入など

エネルギー起源CO2の排出抑制